

<白金標準、第4波のペナントレンジからの離脱に注意・・・>



(出所：オアシス)

BHP のアングロ・アメリカの買収協議の延長では、BHP がアングロ・アメリカの取締役会に協議延長を提案したが、アングロ・アメリカは拒否し、そのため英国の買収ルールに基づき、BHP はアングロ・アメリカに対して半年間の買収提案が禁止される事になる。

また買収を回避したアングロ・アメリカは、運用効率を集約するため、最初に石炭事業の資産を売却、ニッケル事業における鉱山の解体のプロセスを開始しており、石炭とニッケルが完了次第、アングロ・アメリカ・プラチナの分割へ動くと発表している。また 5 年ぶりの南アフリカ議会の総選挙では、与党 ANC が開票率 90% で 42% の支持率に留まり、30 年間続いた単独過半数の ANC が連立政権を模索する動きが加速すると見られ、同国ランド安の動きに注意が必要と思われる。ただ他の貴金属に比べ出遅れ感が強い白金価格は、今月 NY 市場で 12% 近い値上げを示している。また白金標準先物はエリオット波動論に照らし合わせると第 4 波の保合い (ペナントレンジ) を形成しており、レンジ離脱を確認すると 6000 円へ向けた第 5 波の上昇が始まる状況に思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD が下げながら、シグナルも下げており、強気にクロスは発生していない。RCI は短期が切り上げ、中期は下げており、短期が中期を上回るゴールデンクロスの発生に近付いていると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 6 月 3 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 6 月 3 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>